

にじますぼちぼち通信 2022年7月号

○ 与作は木を切る、ハイハイホー、の与作が使ってるのは斧だと思いましたが



与作にはなれそうもありません。
翌日は肩が凝ってしまい、トントントン...失礼しました。

またか、と言われるかもしれませんが引き続き倒木に関連した話題を。先日客室の一番奥にある物置をのぞくと、一番奥の壁際に大きなノコギリが立てかけてありました。その物置、今までも何度も見ていたはずなのですが、これまでノコギリの存在には気づきませんでした。やはり昨年末以降「倒木」が頭から離れなかった影響で、関連するものが目に入るのかもしれませんが。絵本でしか見たことのないような大きなノコギリで、これで「移住の松」の倒木を切ると絵になるかも、とちょっとだけポーズをつけてみました。わたしにはとても切り落とせる自信はありませんが、どなたか本当に挑戦したいという方がいたら

からお声がけください。端から30cmぐらいでしたら自力で切り落とせば持ち帰れる、というルールを、今思いつきました。ただし切りかけは格好悪くなるので途中で挫折しないでくださいね。

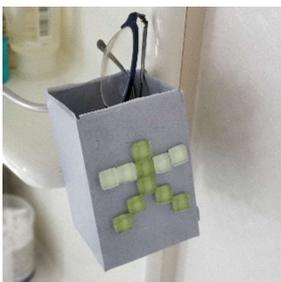
○ 幸せは歩いてこない、だから二人で食べに行こう

数年前より初夏になると縁側にテーブルを出し、窓に向けた「テラス席」を設置しています。緑がいっぱいの庭を眺めながら食事ができるほか、運が良ければ野鳥やリスの姿なども見ることができます。寒い時期はもちろん、暑過ぎる季節もお使いいただけないため、年間で2~3か月しか座れないレアな席になってます。今の時期わりと快適な日が続いており多くのお客様が利用されています。ご利用が多いと気を付けないとならないのが「窓の汚れ」と「窓から見える庭の雑草」です。いやいやテラス席がなくてもきれにしておかないとダメでしょ、と言われるとそれまでですが、...ところでこの席、別名「幸せのテラス席」と呼ばれ「ここに座って食事をしたカップルは幸せになれる」というジンクスがあるとか。ここに座っておいしい食事を食べ、お腹いっぱいになると二人そろって幸せな気分になれるらしいです。素晴らしいですね。



背後の障子を閉めて密室状態にすればもっと人気の席になったりして。

○ 問題です、今年の父の日はいつだったでしょう



側面にはドット絵風の人物、ではなく「大」のひと文字が。

母の日に比べると圧倒的に存在感の薄い父の日（「父親」ではなく「父の日」です）ですが、今年の父の日は娘から予想外のプレゼント。洗面台の横に引っ掛けられる手作りメガネスタンドです。風呂上がりに洗面所に置き去りにされるメガネを何とかしてほしかったのかなあ...なんてひねくれたことを考えてはいけません、ありがたく使わせていただきます。父の日と言えば、と話を続けようと思ったのですが、父の日の記憶がほとんどないことに、我ながらびっくり。ようやくひとつ思い出したのが小学校一年生か二年生のとき、父親にタバコをプレゼントしたこと。角のタバコ屋さんまでタバコを買いに行く小学生、今では考えられない昭和の

風景ですね。ちなみに父の日は今も昔も6月の第3日曜日、今年は6月19日でした。